

しんめいばら

回 覧

第 194 号
2021.6.20

定期整備!

六月二十日(日)昨夜の雨も上がり快晴の朝、十四名の会員の参加により整備を行いました。市より配布をいただいたコリウス、メランポディウムや種から育てた百日草、ブルーサルビア、マリーゴールドなどの苗を五か所の花壇に植え付けました。例年に比べ、今年は高温多湿の時期が早く訪れたためか苗の成長が早く、これから更なる成長が期待出来るそうです。作業中の話題はもっぱらコロナワクチン接種予約の混乱の件で盛り上がり、作業は楽しいひと時となりました。



デザインはお任せ下さい!

五月二十二日(土)清水日本平運動公園にて開催された「園芸市」会場において、静岡市花と緑のまちづくり協議会より高松神明原公園愛護会の十六年に渡る緑化活動に対し、感謝状をいただきました。この間、会員の皆様の積極的な活動参加のもと、自治会、県グリーンバンク、市などから多大なご支援をいただきながら、皆様に愛される公園造りを心掛けてきました。これから集会所を含めた公園の更なる利用促進を図りたいと思います。

功労者表彰受賞!

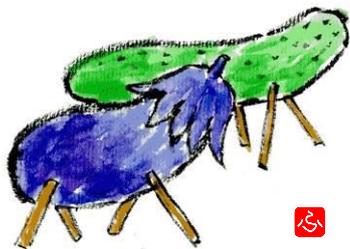


長年の活動が評価され!

豆知識!

『なすの牛、きゅうりの馬』

七月十五日は盂蘭盆。「うらぼん」と読み、いわゆる「おぼん」のことです。家々の仏壇の前には飾り棚がしつらえられ、門口では迎え火を焚いて、その家で亡くなった人を死後の苦しみの世界から救済するために我が家にお迎えします。棚には、その時期に採れた野菜などが供えられます。中でも芋殻(おがら)、皮をはいた麻の茎)の足をつけたなすときゅうり、子供の時に見たそれは思い出となって祖先との絆を感じます。祖先を敬う習わしは、延々と続いて伝統が残る田舎では、今でも行われていますが、都会暮らしの分家、新家では、仏壇さえ珍しくなっています。また、祖先を敬う日本の心がいつまで続くのか心もとない。「寺院消滅」が言われるこのごろです。



なすの牛、きゅうりの馬
仏の教えもこれなら
子どもにも親しめる
のでしょ

今日の公園!



梅雨入りに咲くアジサイ!



お知らせ!

○ 七月の公園整備は四日(日)、十八日(日)です。施肥、灌水、雑草取りなどの作業を行います。

○ 七月の回収、ピン・缶は二十七日(火)、古紙は二十五日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在十九名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずごなだでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで